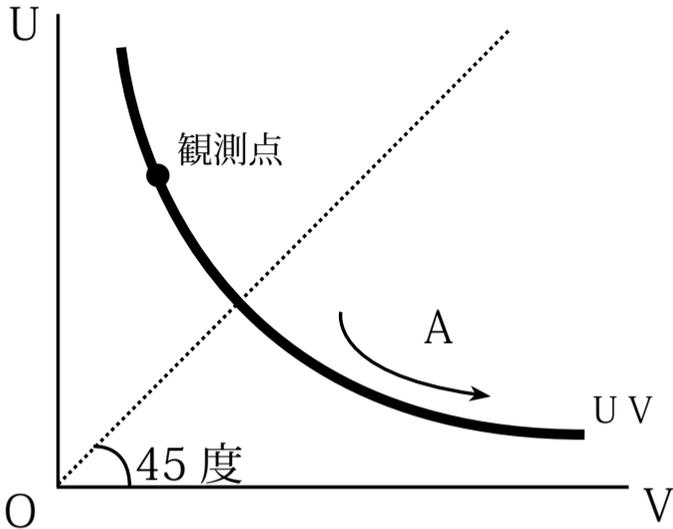


マクロ経済学（追加問題）

追加論点 UV曲線

問題

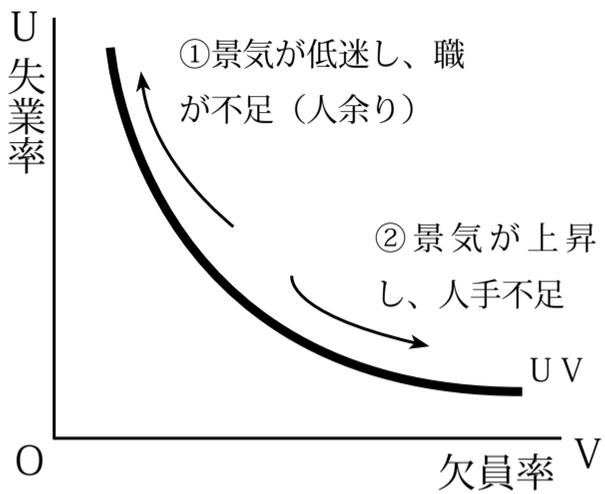


縦軸を失業率（U）、横軸を欠員率（V）としたUV曲線に関する次の文中ア～ウにあてはまる語の組み合わせとして妥当なものはどれですか。

45度線の左上の領域について、この場合、（ア）超過の状態です。また、観測点が同一UV曲線をAの方向へ変化するとき労働市場は（イ）低下の状態です。また、曲線自体が左下シフトする場合は（ウ）低下の状態です。

- | ア     | イ         | ウ         |
|-------|-----------|-----------|
| 1. 供給 | 需要不足      | 構造的・摩擦的失業 |
| 2. 供給 | 構造的・摩擦的失業 | 需要不足      |
| 3. 需要 | 需要不足      | 構造的・摩擦的失業 |
| 4. 需要 | 構造的・摩擦的失業 | 需要不足      |
| 5. 需要 | 構造的・摩擦的失業 | 自然        |
- （地方上級 改題）

プロセス-1 グラフの上方と下方



UV曲線は、

①景気が悪くなると、企業はリストラを行い、雇用を削減するために失業者が増加(供給の超過) します。

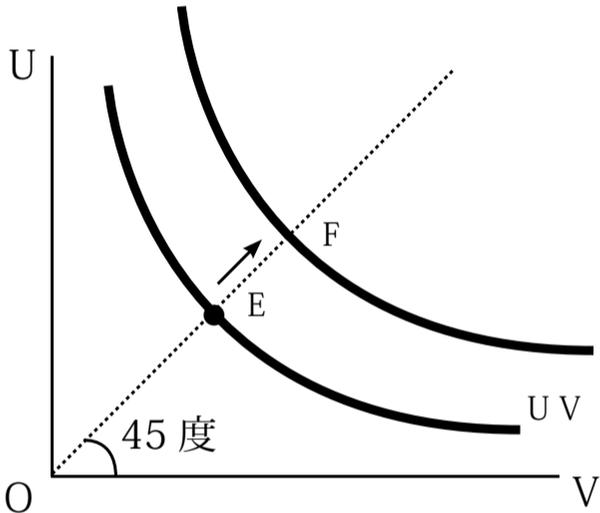
②景気が良くなると、企業は人手不足(需要の超過) となり雇用を拡大させるために失業者が減少します。

このような①、②の関係から右下がりの曲線になります。

補足

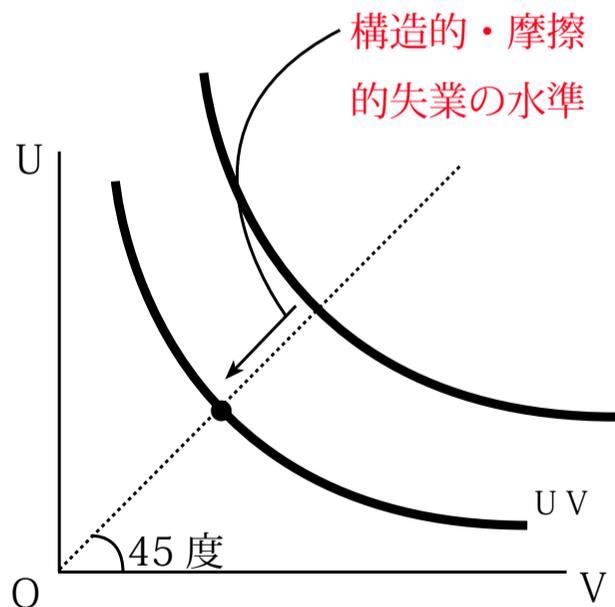
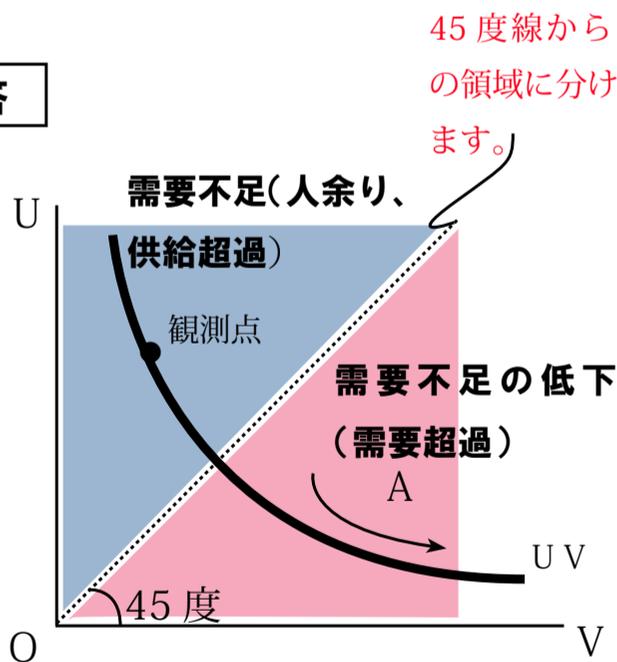
UV曲線（ベバリッジ曲線）は、労働市場において供給超過を示す失業率（Unemployment rate）と、需要超過を示す欠員率（Vacancy rate）の関係を表したグラフです。

プロセス-2 グラフのシフト



次に、45度線を描きます。45度線は縦横の長さが一致なので、人余りと人手不足が相殺されているはずですが、グラフ上ではゼロになりません（E点）。それは、求人と求職の仕事のミスマッチ、つまり**構造的・摩擦的失業**の水準が表されているからです。構造的・摩擦的失業の増加（F点）はグラフを右上へシフトさせます。逆に構造的・摩擦的失業の減少はグラフを左下へシフトさせます。

解答



補足

構造的・摩擦的失業は、現在足りない職業となりた職業のミスマッチです。例えば、IT従事者が不足しているのに、教師になりたい人が多いような状況です。

45度線の左上の領域について、この場合、（**供給**）超過の状態＝需要不足です。また、観測点が同一UV曲線をAの方向へ変化するとき労働市場は（**需要不足**）低下の状態です。また、曲線自体が左下シフトする場合は（**構造的・摩擦的失業**）低下の状態です。以上より、1が正解です。